



名鍍会報告

H20. 3

名鍍会の活動の中で最も重要な行事である定時総会が、さる平成20年1月19日(土)名古屋市中区栄の東京第一ホテル錦(3階ドルチェ)に於いて開催され、提出議案が慎重審議の上、滞りなく承認されましたことを、まずもってご報告させていただきます。



総会は、流暢な語り口で好評な副会長の山内教義氏が昨年に続き今年も司会を務め、役員任期が2年目となる今年度は役員改選もなく、現会長の清水謙一氏が議長となり、第1号議案から第6号議案まで、全て満場一致で承認されました。

議事終了後、多くのご来賓の方々からご祝辞や励ましのお言葉を頂戴し、大変恐縮致しました。

ご来賓は次の方々(順不同)です。

愛知県鍍金工業組合	理事長	伊藤 豪 様
愛知県鍍金工業組合	副理事長	笠間 則文 様
愛知県鍍金工業組合	副理事長	竹内 克弘 様
愛知県鍍金工業組合	副理事長	菅沼 延之 様
愛知県鍍金工業組合	専務理事	小川 孫昭 様
名古屋大学	名誉教授	沖 猛雄 様
財団法人名古屋都市産業振興公社	常務理事	久米 道之 様

以上7名の皆様には、公私共に非常にお忙しいところ、貴重な時間を取って頂きましたことに、改めてお礼申し上げます。

総会後の記念講演(11階チャーム)では、地元名古屋市中区住吉町で老舗料亭蔦茂(つたも)を経営され、住吉の町、栄の町の活性化に精力的な活動をされている深田正雄氏に『住吉の語り部になりたい』を演題にご講演いただきました。

同氏の幼いころの栄町周辺の情景や色々な経験談、江戸時代からの歴史年表には載らない裏話、更には'07年生産車世界一位を誇るトヨタ自動車の前進は、名古屋の下町の小さな町工場からの出発であったことなど、地元、愛知周辺から名古屋栄周辺までのおもしろ年表が出来る位に、次から次へとテンポの良い話にひきこまれ、勝手に頭の中で想像した場面の中に、自分がいるような錯覚にさえなってしまう、魅力あるお話に一時間半が短く感じてしまいました。深田氏は真に『住吉の語り部』そのものであると、講演を聴いた皆様は思われたことでしょう。



引き続き、会場を移動して懇親会（11階アンピオ）を行ないました。まず、清水会長の挨拶の後、急ではありますが、組合の竹内副理事長に祝辞のごあいさつをお願いし、同菅沼副理事長に乾杯のご発声をいただき、歓談となりました。和やかな雰囲気の中、テーブルのあちこちで意見交換など話に花が咲き、大いに盛り上がりました。更に、珍しいことには名鍍会の現在から30年前までの歴代会長が（最高齢63才）一同に揃う珍事（？）があり、全員前に揃って顔見せとなるサプライズがありました。また、鍍金業にはなくてはならない整流器や自動ラインの中央製作所の代表取締役後藤安邦様にも、予告なしでご挨拶をお願いしお言葉を頂きました。そして嬉しいことに今年は、会員のモリイチ商会と渡辺メッキのご子息の入会があり、昨年入会のサーテックカリヤのご子息紹介と共に、若い3人からの挨拶に会場が一層盛り上がりました。続いて中締めを、組合の小川専務理事に、アポなしでのご指名にもかかわらず快く受けていただき、万歳三唱で無事に閉宴となりました。この盛況な勢いがこのまま9月の50周年記念事業に繋がるようにと思っています。



追伸：9月20日（土）に名鍍会創立50周年記念式典が名古屋マリオットアソシアホテルで開催されますが、まだまだ名鍍会執行部役員が準備調整中です。会員の皆様方にはお気付きの事がございましたら是非ご指導をお願いいたします。